

被災地への全国からの 応援職員を紹介します

平成28年10月

- ①氏名 ②派遣元団体 ③所属課(業務内容)
④派遣期間 ⑤自己紹介

双葉町



- ①廣田 春二(ひろた はるじ)
②新潟県柏崎市
③復興推進課(復興事業用地関係、復興町民委員会)
④平成27年4月1日～平成29年3月31日まで
⑤柏崎市役所で定年を迎え再任用に際し、同じ原発立地自治体の復興のお役に立ちたく派遣に応募しました。

会津地方へは度々訪れていましたが、浜通りの冬季間の温暖な気候は日本海側と正反対で大変住み良く感じます。

双葉町職員の皆様は温厚で、自らも被災し家族とも離れて単身赴任の中、住民や町内の復興に懸命に取り組んでおられます。

私は、双葉町の復興と職員の皆様のご負担を軽減できるようお役に立ちたいと思っております。

いわき市

①須藤 卓也 (すとう たくや)

②群馬県前橋市

③危機管理課 (防災・災害対応業務)

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤私は東日本大震災直後に、前橋市が派遣した「いわきら・ら・ミュウ」瓦礫撤去ボランティアバスに参加したことや、短期派遣職員としていわき市の罹災調査に携わったりしました。

今年度担当している災害対応業務は市民の生命に関わる最前線の現場です。そこでどのくらい自分が福島県やいわき市の復興に寄与できるかわかりませんが、職場の先輩方の力を借りながら精一杯努めていきたいと思います。



①戸谷 哲也 (とたに てつや)

②愛知県稲沢市

③総合政策部除染対策課 (原発事故による除染業務)

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤福島県に来て思ったことは、外から来た私にとってはかなり復興が進んでいると感じ、普段の生活をしている分には愛知県にいる時と同じような生活が普通にできるのですが、もともと住んでいる福島の方にとっては、震災前の生活に戻れていない方も多いので 5 年経っても進んでいないと感じているという事です。

最後に、いわき市の気候がとても快適で、住むには最高の環境だと思います。

①五十嵐 哲矢 (いがらし てつや)

②福島県

③都市建設部都市復興推進課 (震災復興土地区画整理事業)

④平成 28 年 2 月 1 日 ~ 平成 29 年 1 月 31 日まで

⑤福島県喜多方市役所在職中、土地区画整理事業の職場経験が長かったことから、一念発起、福島県の任期付職員採用試験を受

けて採用されました。いわき市役所の皆様のおかげで職場の環境にも早く溶け込むことが出来ました。仕事は薄磯地区豊間地区の震災復興土地区画整理事業に関する業務で、昔の体験を少しづつ思い出しながら対応しています。忙しい毎日ですが、いわき市の復興支援のために与えられた業務に励んでまいりたいと考えております。



①塚原 信孝(つかはら のぶたか)

②東京都

③都市復興推進課(震災復興土地区画整理事業)

④平成24年9月1日～平成29年8月31日まで

⑤ライフワーク:都市計画・危機管理

前職:前橋市役所職員・建築職

(平成24.3前橋工科大学事務局長を最後に定年退職)

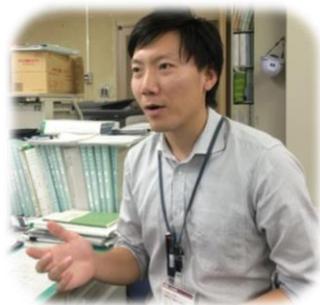
派遣動機等:東日本大震災直後、いわき市民の前橋市への自主避難を受入れ、いわき市への公的支援開始(物資・人員)。

一方、前橋市民により組織されたボランティア組織の事務局として頻りに現地での活動を行っており、そのなかで、現場の状況を十分に理解していたことから、定年直後、東京都の支援要員募集に応募、災害公営住宅15団地約1500戸の建設要員としていわき市に派遣される。1年7ヶ月の災害公営住宅建設事業担当後、現部署に異動し基盤整備事業及び復興の加速化の業務に携わっており、いわき市民となり単身生活5年目である。

福島県の印象:原発事故もあり甚大な被害を受けながらも行政としてしっかりと対応しようとしているが、初めてのことが多く、組織的対応に困惑も見られる。

職場の雰囲気:いわき市は前橋市同様中核市であり、優秀な職員と一体となって事業を推進しており、仕事がやりやすいと感じている。

今後の自分の役割:自分の経験・現在の問題意識を、あらゆるネットワークを活用し、東日本大震災後、未だ成し得ない復興の現実を広く伝えることで、復興の加速化に、すこしでも役に立っていきたい。



①中瀬 貴也(なかせ たかや)

②千葉県船橋市

③土木課(橋梁新設工事等)

④平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

⑤派遣の動機:震災が起きた年に入庁し研修もままならないまま職務に就き、いつか被災地の復興に携わりたいと思っていたから。

福島県の印象:海山に囲まれ自然豊かでありながらも、関東からアクセスしやすいという印象。

職場の雰囲気:仕事熱心、困った時は皆で協力してやろうという雰囲気で優しさと笑いが溢れる職場です!

今後やりたいこと:スノーボード、山登り、ゴルフ

生活して感じたこと:とても面積が広い。スケールの大きな工事が多く勉強になります。いわき市は一年を通して過ごしやすい気候です。

相馬市

①会田 雅弘（あいだ まさひろ）

②清水建設 株式会社

③建設部建築課（工事監督員他）

④平成 26 年 1 月 6 日～平成 28 年 12 月 28 日まで

⑤出身が福島県で災害発生時から、何らかの形で復興のお手伝いがしたいと考えていました。そうした中、清水建設に総務省から災害派遣の要請があるとのことで、即、承諾し相馬市役所に着任しました。

建築課の監督員として多くの建設工事に携わり、微力ですが復興の力になれていると感じています。技術畑で培ったノウハウを今後も復興の力として役に立つのであれば県内何処へでも駆けつけたいと思っています。



①白石 智保（しらいし ともやす）

②愛媛県西条市

③建設部都市整備課まちづくり係

④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤東日本大震災の映像を見て、自分に何ができるかという思いがあり、今回、復興支援の話をいただいて、震災当時の思いがよみがえり、派遣への意気込みとなりました。

相馬市での復興再建への取り組みは様々あり、市民一体となり震災前の街並みへ戻そうという強い気持ちを感じられ、益々貢献したいと感じています。

東北を巡って得たことを地元へ帰っても忘れることなく伝えていきたいと思っています。

①皆川 寛（みながわ ひろし）

②新潟県長岡市

③土木課

④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤東日本大震災の復興状況をニュースで見て、少しでも力になればと思い、志願しました。

相馬市の人には、温かく迎え入れて頂いているという印象が強く、それが日々の仕事への意欲になっています。

日々周りの支えてくれている方々に感謝し、相馬市での経験を活かして全力で業務に取り組みたいと思っています。 「頑張るぞ！相馬！」



①小澤 佳郎（おざわ よしろう）

②愛媛県西条市

③建設部土木課土木係

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤東日本大震災の復興報道を見ているうちに、少しでも役に

立ちたいという思いが強くなり、派遣を志願し、初めての福島県及び東北に来ました。自然の美しさを目の当たりにして、震災前に来ておきたかったと後悔するぐらいです。

相馬市職員は、皆、親身にしてもらえるので充実した日々が過ごせ、業務に全力で取り組んでいます。趣味のロードバイクに乗り東北の良さをたくさん見つけて回りたいと思います。



①渡辺 征稔（わたなべ まさとし）

②岡山県総社市

③産業部農林水産課農地林務係
（農地等災害復旧工事担当）

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤少しでも震災復興のお力になればと思い、派遣を志願しました。職場は気軽に相談のできる風通しの良い環境で、復興に向けて一丸となっていると感じています。日々、貴重な経験ができています。実感でき、相馬市に来てよかったと心から思っています。福島県は食べ物・お酒がとても美味しいので、しっかり堪能し、地元で福島県の良さを PR していきます。

大 熊 町

①渡辺 悠（わたなべ ゆう）

②新潟県柏崎市

③福祉課 健康介護係（保健師業務）

④平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

⑤大熊町と同じく、東京電力の原子力発電所が立地する、新潟県柏崎市から参りました。大熊町への保健師の派遣は、今年度で 3 年目になります。

柏崎市には 8 月 31 日現在 725 名の方が福島県から避難しておられます。

私の祖父は、通っているスポーツジムで、大熊町の方と友人になりました。

先日、その町民の方が、派遣されている私を訪ねて会津若松にある役場にきてくださいました。

そのような偶然のつながりを大切に、がんばります。



広野町



①宮地 恵崇 (みやち やすたか)

②愛知県清須市

③復興企画課復興建設係

④平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

⑤福島県に来てあっという間に半年が過ぎてしまったという感じがしています。この半年が、短いと感じるのも広野町や福島の方々が、温かく接していただけているからだと感じております。残り半年ですが、ここで受けた恩を福島や広野町の復興・復旧に少しでもお返しができるようにしていきたいと思っています。それと福島県内をいろいろめぐり、体感したことを愛知に戻ったときには、福島をPRできたらと思っています。



①大谷 哲矢 (おおたに てつや)

②埼玉県三郷市

③環境防災課 (生活環境、災害関連業務)

④平成25年10月1日～平成29年3月31日

⑤私は平成25年10月より災害時相互応援協定に基づき派遣されています。広野町では、環境防災課での業務に携わせて頂き、主に避難先情報の管理や、各種証明書の発行、生活環境に関する業務を担当しています。赴任して約3年が経ちますが、町の職員の方々は当初から変わらず親切に接して下さい、良い雰囲気の中で仕事が出来ています。私が広野町で出来ることは微々たることに過ぎませんが、今後も町の復興を見届けていきたいと思っています。

①谷口 真依子 (たにぐち まいこ)

②復興庁福島復興局

③生涯学習課 (放課後子ども教室、青少年育成事業等)

④平成26年5月1日～平成29年3月31日まで

⑤広野町に派遣されて2年5ヶ月、子どもたちの絆づくり

のイベントや事業、広野での学びを支援する業務をお手伝いしてきました。初めは全然聞き取れなかった浜通りの言葉も、最近ようやく雰囲気をつかめるようになってきました。

広野町には、広野を愛し、広野のために力を尽くしたいと考える人が、老若男女問わずたくさんいらっしゃいます。そのような方々を、残りの任期で有機的につなげる仕組みを作りたいと思っています。



南相馬市



- ①伊藤 航太 (いとう こうた)
- ②新潟県三条市
- ③建設部都市計画課 (防災集団移転促進事業)
- ④平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで
- ⑤前任者に引き続き、被災地の復興にお力添えできればとの思いでこちらに参りました。

都市計画課では、津波被害を受けた方々に安全な場所へ移転していただく事業の用地買収を担当しています。初めての地で、これまで経験のない業務に携わることとなり、最初は不安でいっぱいでしたが、職場の皆様から様々な面で支えていただきながら、ここまでやっていくことができました。

中味の濃い、あっという間の1年半でしたが、残りの期間も引き続き復興事業に尽力していきたいと思えます。



- ①山中 雅仁 (やまなか まさひと)
- ②神奈川県
- ③復興企画部除染対策課 (除染事業の設計積算)
- ④平成 28 年 4 月 2 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤震災後、宮城県気仙沼市や岩手県陸前高田市で復興事業の仕事に従事させていただきました。福島
の復興なくして日本の再生はないと思い再度希望し、南相馬市の除染事業の積算など担当させて
いただいています。除染の最終年度に際し、不眠不休で対応する市職員さんに心打たれました。二宮尊徳
の姿勢で私も除染に全力投球します。

- ①花岡 高行 (はなおか たかゆき)
- ②東京都杉並区
- ③復興企画部 企画課 (土地利用計画等)
- ④平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日
- ⑤中越沖地震の際、祖父母が住む新潟県柏崎での



ボランティア活動を通じ、震災対応の難しさを感じたことから、自治体職員としても被災地の為に働
きたいと考え、派遣に手を挙げました。

現在の職場では、津波や原発事故で被災した土地を、新たにどのように活用すべきかを検討する業
務に携わっています。

避難指示解除という大きな節目を越え、今後の復興に必要なことは何か、地域の方や同僚と計画し、
実施に移していきたいと思えます。

①加藤 博之（かとう ひろゆき）

②東京都青梅市

③復興企画部危機管理課

④平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤仙台市で大学生活を過ごした私にとって、多くの友人がいる福島県は、非常に親しみがある場所でありました。そこで起こった震災は、私にとって非常にショッキングな出来事で、同時に自分でも「何か」しなきゃと言う思いを持ち、福島県へやってきました。

福島県は非常に辛い思い出と共に、復興を果たそうとしています。南相馬市で防災担当の業務を通じ、微力ながら少しでも、ここで暮らす皆様の力になれば幸いです。



①八子 明光（やこ あきみつ）

②新潟県燕市

③総務部税務課資産税係

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤私は、新潟県燕市から派遣されております八子と申します。

税務課資産税係で土地と償却資産の評価賦課業務に当たっております。

南相馬市そして福島県の風土・文化・食に多く触れ、少しでも復興のお手伝いができるよう頑張りたいと思います。

新 地 町

①大塚 佳子（おおつか よしこ）

②福島県

③健康福祉課（保健センター業務）

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤保健センターでは、乳幼児や成人・高齢者の健診や、健康相談などの健康づくり業務に従事しています。

先輩方の長年の地道な保健活動や住民の方への丁寧な対応のおかげで安心して仕事をさせて頂いてます。

新地町は、これまで全国からの派遣職員の方々の努力により、防災集団移転事業、防災緑地、復興道路や土地区画整理事業など復旧・復興事業が進められ、職員の派遣をきっかけに災害時の相互応援協定が結ばれるなど交流が続いています。



①吉本 幸弘（よしもと ゆきひろ）

②高知県

③復興推進課

④平成 27 年 4 月 1 日 ～

⑤任期付職員募集の案内が届いた時に、被災地の自治体ではまだ人手が必要であって、自分にも何かお手伝いできることがあるかもしれない、それならば飛び込んでみようか、と思ったのが始まりです。大阪で生まれ育ち、高知で働いてきたので、遠い東北の地でうまくやっていけるのかなあという不安はありましたが、早くも 1 年半が過ぎました。職場や気候にも慣れ、なんとか頑張っています。



富岡町

①米山 知宏（よねやま ともひろ）

②埼玉県北葛飾郡杉戸町

③生活支援課避難生活支援係

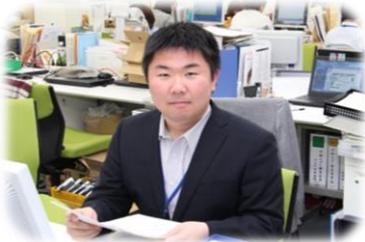
④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤埼玉県北葛飾郡杉戸町より双葉郡富岡町に派遣されております、米山知宏です。

富岡町と杉戸町はソフトテニスを通じて町民の交流が始まり、平成 22 年 11 月 3 日に友好都市となりました。その縁で、震災以降、富岡町に職員を派遣するようになり、私が 2 人目になります。

復興支援という名目で派遣されておりますが、富岡町の職員は自身も大変な状況にも関わらず、我々派遣職員に優しく温かく接して下さるので、支援に来たはずが、逆に支えていただいている状況です。

来年 4 月の帰還に向けて、全職員が一丸となっております。富岡町と杉戸町も 1 日も早く震災以前の町民同士が往来できる関係に戻れるように、微力ですが尽力していきます。



①竹内 努（たけうち つとむ）

②福井県敦賀市

③税務課固定資産係（固定資産税）

④平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

⑤富岡町に派遣されました福井県敦賀市派遣職員の竹内 努です。富岡町では税務課に配属され、固定資産税を担当しています。福島県を訪れるのは今回が初めてなので、環境や言葉など全てが新鮮に感じています。福島県は日本有数の酒どころとのことで、休日には観光も兼ねて県内各地にある蔵元を訪ねてみたいと思っています。

浪江町

①七海 邦子

②福島県

③健康保険課（母子保健業務担当）

④平成26年4月1日～平成29年3月31日

⑤県外で看護師をしておりましたが、地元福島県に貢献したいという思いから、保健師として戻ってまいりました。

町民の皆様が様々な立場で岐路に立たされ、選択を迫られる苦悩や慣れない環境での生活で疲弊していることをひしひしと感じております。少しでも心身が健やかな状態で生活が送れるよう、微力ではありますがお力添えできればと思っております。引き続き、よろしくお願いいたします。



①山本 裕也（やまもと ゆうや）

②静岡県湖西市

③生活支援課 避難生活支援係

④平成28年4月1日～平成29年3月31日

⑤浪江町への派遣の話があり、被災地で少しでも役にたちたいと思っていたので希望しました。

私は浪江町の交流館に配置しているコミュニティ支援員やサロンに参加する町民と関わるのですが、その明るさと元気の良さにいつも元気をもらっています。職場内も親切で明るい方が多く、とても働きやすい場所だと思っています。

浪江町はまだまだ復興半ばです。そんな浪江町のために自分のできることを全力で頑張っていきます。

①原田 誠（はらだ まこと）

②東京都

③まちづくり整備課 建設係
復興関連 道路整備事業

④平成24年9月1日～平成29年3月31日

⑤東京都の震災復興任期付派遣職員に応募し、福島県に派遣されて5年目になります。

最初は、中通りの鏡石町で震災による道路の復旧工事と除染業務を担当しました。

浪江町は今年の11月からで、地震と津波被災、原発災害により全町民が避難の中ですが、町の復興に向けて、微力ではありますが日々取り組んでいます。



飯 舘 村

①川崎 弘子（かわさき ひろこ）

②千葉県我孫子市

③健康福祉課（栄養士としての健康支援）

④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤福島県出身の親友を4年前に急に亡くし、何か福島県のお役に立ちたいと思っていたところ、たまたま職場の掲示板上で栄養士の募集を見つけました。飯舘村の職員も村民もとても優しく温かく仲間に入れてくださるので、やりがいをもって毎日業務にあたっています。特に家庭訪問で村民の方と直接触れ合う仕事は、栄養士としてとても勉強になります。

プライベートとしてはこの冬スキーにうんと取り組んで、少し上達して帰りたいと思っています。



平成 28 年 9 月 発行

編集 福島県総務部市町村行政課

TEL 024-521-7057

FAX 024-521-7904